

宇治山田産学官拠点「まちなか研究室」運営プロジェクト

プロジェクト始動

まちなか研究室マニュアル作成

明倫ストリートフェス参加

伊勢まちづくり新聞作成協力

伊勢まちづくり新聞発行(予定)

2017

6

8

2

3

◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

「まちなか研究室」運営プロジェクトとは宇治山田駅のショッピングセンター内に設置されている「まちなか研究室」をどう運営、活用していくかということを考え実践していくプロジェクトのことだ。

私たちが今年度してきた活動の内容は「まちなか研究室」の使い方のマニュアル作りと宇治山田駅の近くにある明倫商店街の祭りへの参加だ。

マニュアル作りは「まちなか研究室」の鍵を借りて実際に中に入るまでの手順や火気厳禁などの禁止事項、退出するときの手順をわかりやすく明記されたものを作った。このマニュアルはすでに早速学生に使ってもらった。

次に明倫商店街の祭りへの参加の内容は小学生ぐらいの子供を主な対象としたバルーンアートを作り、渡すというものを行った。しかし私たちはバルーンアートの作り方をしらなかったのでまずは作り方を知るところから始まった。学生で作り方を知っている人がいたのでその人に教わりながら勉強した。教えてもらったものは、犬・ウサギ・剣・などだ。力のいれ方ですぐに破裂してしまうバルーンアートは作るのが少し難しかった。祭りの当日は台風が接近していたが結構よい天気でも成功だった。明倫商店街の中に机を置かせてもらいバルーンアートを100個ぐらい配った。

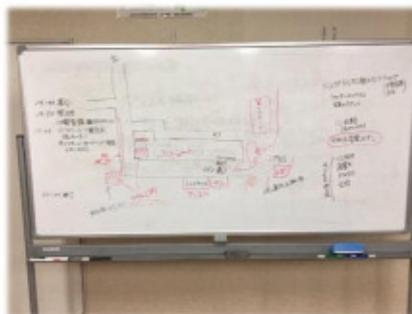
2月には伊勢まちづくり新聞の一角をお借りして、記事を掲載させていただいた。内容は伊勢駅前再開発者インタビュー、空き店舗支援情報に関する方へのインタビューと三官連携プロジェクトに関する所へのインタビューの3つだ。新聞作りやインタビューは中々体験できるものではないので良い機会だと思った。

今後も、「まちなか研究室」も運営を主体に伊勢の地域で現地の方々と協力しつつ伊勢の地を盛り上げていければと考えています。



実施主体様の声

バルーンアート配りではありがたいの声が多かった。



活動実施主体：伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり株式会社
担当教員：池山 敦(教育開発センター)